

(1) 保存地区の概要

地 区 名	内子町八日市護国
種 別	製蠟町
面 積	約3.5ヘクタール
選 定 年 月 日	昭和57年4月17日
特 徴	江戸後期から明治にかけて建てられた豪商屋敷や町家が軒を連ね、木蠟生産で栄えた町の面影を残す。浅黄色の漆喰で塗り込められた重厚な大壁や平入り造りが特徴。隣家との間に残る小道や水路は、大壁や石積などと相まって独特の路地空間くせだわを生んでいる。懸魚(げぎょ)や虫籠窓(むしこまど)など、家々の意匠も変化に富んだ町並み景観を創り出している。重要文化財の大村家住宅、本芳我家住宅、上芳我家住宅を含む約600mの通り一帯が歴史的風致をよく伝えている。 
本芳我家住宅(重要文化財)	

(2) 保存地区のあゆみ

昭和47年(1972) 昭和50年(1975) 昭和51年(1976) 昭和52年(1977)	集落町並み調査第1次調査表を愛媛県教育委員会へ提出 アサヒグラフで町並みが紹介される 八日市周辺町並保存会発足 松竹映画「坊ちゃん」ロケ実施 伝統的建造物群保存地区保存対策のための調査実施 内子町八日市周辺町並み保存対策協議会を組織
昭和53年(1978)	内子町伝統的建造物群保存地区保存対策調査報告書完成 内子町伝統的建造物群保存地区保存対策費補助金交付要綱制定
昭和55年(1980)	内子町伝統的建造物群保存地区保存条例制定 内子町八日市護国伝統的建造物群保存地区保存計画策定
昭和57年(1982)	「重要伝統的建造物群保存地区」選定(四国で1番目 全国で18番目)
昭和61年(1986) 昭和62年(1987)	八日市護国地区町並保存会発足総会 うちこ六日市・八日市護国地区伝統的建造物群保存地区保存対策調査報告書作成 電柱移転・電線の地中化(昭和62年～平成元年)
平成2年(1991) 平成6年(1995) 平成10年(1998) 平成11年(1999) 平成12年(2000)	大村家・本芳我家・上芳我家の3件が重要文化財に指定 八日市・護国地区が「都市景観大賞」(景観形成部門)受賞 伝建地区「総合防災計画」策定 伝建地区に耐震消火栓敷設 伝建地区内に内子町八日市・護国町並保存センター設置(八日市護国地区町並保存会の事務所も兼ね、官民協働で町並保存対策を実施)
平成20年(2008)	八日市護国伝統的建造物群保存地区見直し調査開始、調査完了(平成22年)
平成27年(2015)	内子町が文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)受賞 芝居小屋内子座が重要文化財に指定
令和4年(2022)	重伝建選定40周年シンポジウム開催

(3) 保存地区の保存と整備

1) 修理修景事業

選定前(昭和20年代)の様子



現在の様子



修理事業の例



修景事業の例



雨樋の修理



蟻垣の修理



防虫(セントリコン)の設置



2) 修理修景事業の件数及び事業費

町並保存に要した事業費(国庫補助+町単補助)									
年度		件数		年度		件数			
		修理	修景			修理	修景		
1978	53	1	1	2002	14	7	9		
1979	54	4	0	2003	15	8	6		
1980	55	11	6	2004	16	9	6		
1981	56	5	1	2005	17	11	7		
1982	57	11	2	2006	18	5	2		
1983	58	11	3	2007	19	7	3		
1984	59	9	2	2008	20	5	0		
1985	60	21	1	2009	21	3	3		
1986	61	9	1	2010	22	7	1		
1987	62	7	2	2011	23	7	1		
1988	63	6	4	2012	24	5	1		
1989	1	4	4	2013	25	7	1		
1990	2	8	4	2014	26	9	4		
1991	3	11	1	2015	27	9	1		
1992	4	9	5	2016	28	3	5		
1993	5	5	1	2017	29	14	2		
1994	6	7	4	2018	30	13	1		
1995	7	11	2	2019	1	6	2		
1996	8	23	5	2020	2	6	6		
1997	9	9	5	2021	3	4	1		
1998	10	9	1	2022	4	8	1		
1999	11	7	4	2023	5	9	3		
2000	12	11	5	2024	6	14	4		
2001	13	6	9	2025	7	10	0		
小計		215	73	小計		186	70		
				合計		401	143		

(4) 保存地区の活用とまちづくり

1) 伝統的建造物群保存地区の保存・活用とその波及効果

- ・木蠟資料館上芳我邸を拠点に町内の歴史資料の調査研究を推進
- ・古民家をリノベーションした「宿」が3件オープン、また1件増の予定
地区外における宿泊施設の新規1件オープン・増築1件(6部屋)
→ ①空き家の解消, ②観光客及び滞在時間の増加, ③情報発信の変化



- ・町並保存の波及効果
→ ①内子座の保存: 老朽化により取り壊して駐車場にという動きがあったが町民の熱意で保存に成功。現在では重文指定になる
②村並み保存: 市街地ばかりでなく農村集落を元気にする運動の展開
例) 地元の住民で「石畳を思う会」を結成し、水車小屋を復活させ「水車まつり」を開催、「石畳の宿」の指定管理を受け維持管理
③「内子町屋外広告物条例」、「内子町景観まちづくり条例」を制定し、「景観まちづくり計画」を策定 住民と一体となって推進



＜内子座(重要文化財)＞・・・改修中
大正5年(1916年)に大正天皇の即位を祝い創建された。木造2階建ての瓦葺き入母屋作り、純和風様式の本格的な芝居小屋。回り舞台や花道、桝席、楽屋などがあり、当時の建築技術の粋が集められた建造物である。

2)内子町観光客数

内子町観光統計より（単位：人）																		
項目	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
入込観光客合計	1,107,328	1,053,928	1,111,088	1,028,500	1,130,689	1,161,090	1,198,888	1,239,255	1,291,181	1,131,108	1,076,087	1,145,842	884,937	852,688	929,629	950,202	923,177	945,347
宿泊客	19,991	13,529	14,849	14,738	15,550	14,582	14,452	14,814	15,057	38,330	41,650	39,735	33,934	7,363	9,147	10,682	11,168	50,306
県外客	511,143	486,493	512,878	490,800	491,397	451,277	485,550	630,781	712,302	527,850	538,044	572,921	212,385	298,441	381,148	427,591	415,430	425,406
（内外国人）	1,022	973	1,194	737	698	944	1,444	3,136	3,767	5,176	5,729	5,607	635	—	331	13,619	41,457	62,924
県内客	596,185	567,435	598,210	537,700	639,292	709,813	713,338	608,474	578,879	603,258	538,043	572,921	672,552	554,247	548,481	522,611	507,747	519,941

(5)住民等の取組

1)内子町八日市護国地区町並保存会の活動について

会員数:正会員90名 賛助会員:14法人 個人30名
役 員:会長1名 副会長2名 事務局長1名 会計1名 幹事若干名 会計監事2名

保存会は、八日市護国町並保存地区が地域住民の歴史と文化に育まれた暮らしの場であることを自覚し、町並保存地区住民の意思に基づいて、よりよい住いの環境を整え、個性豊かな地域づくりに取り組んでいる。

＜主な活動＞

- ・毎月第1日曜日の清掃活動
- ・保存地区に関する学習と周知
- ・八日市町並観月会の実施
- ・伝統行事「どんど焼き」の実施
- ・機関誌「町並にゆーす」の発行
- ・伝統的建築物の修理等の相談
- ・他の伝建地区との交流
- ・防災訓練の実施 など



研修旅行(大田市)



八日市町並観月会



防災訓練



どんど焼き



中学生 蠟搾り体験



中学生 蠟搾り体験